

河川水の水質について (事業着手前と令和 2 年度の比較)

河川水について、クリーンセンター滋賀 (処分場) の事業着手前 (造成工事前:平成 11 年 8 月から平成 12 年 7 月まで) の水質調査結果と令和 2 年度の水質調査結果を以下に示します。

それらの結果については、以下のとおり概ね同程度の値であり、現在の状況は、総じて事業着手前と同等のレベルにあると考えております。

1 健康項目

健康項目について、令和 2 年度の調査結果 (表 1-1) と事業着手前に実施した調査結果 (表 1-2) を比較すると、St.5・St.9 で硝酸性窒素 (平均値)、St.4・St.5・St.9 でふっ素が増加し、一方で亜硝酸性窒素やほう素は、数値が小さくなるなどしています。

これらの項目については、令和 2 年度の結果において、いずれも環境基準 (=維持されることが望ましい基準:硝酸性窒素 10mg/l、ふっ素 0.8mg/l) に比べて十分低い状況であり、事業着手前と同等のレベルであると言えます。

また、カドミウムなど、上記以外の項目については、すべて不検出であり (事業着手前と令和 2 年度とも)、事業着手前の水質と同等のレベルであると言えます。

表 1-1 健康項目調査結果 (令和 2 年度)

単位: mg/L

項目	St.4	St.5	St.9	St.12	環境基準
硝酸性窒素	最大値	0.59	2.1	3.0	0.64
	平均値	0.36	0.98	1.4	0.40
亜硝酸性窒素	最大値	0.005	0.016	0.015	0.006
	平均値	0.003	0.005	0.006	0.004
ふっ素	0.20	0.13	0.13	-	0.8以下
ほう素	<0.1	0.1	0.1	-	1以下

※カドミウムなど左記以外の項目は、いずれも不検出でした。

表 1-2 健康項目調査結果 (工事前調査:平成 11 年 8 月~平成 12 年 7 月)

単位: mg/l

	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	St.7	St.8	St.9	St.11	環境基準
カドミウム	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
P C B	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
1,3-ジクロロプロパン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
硝酸性窒素	最大値	0.70	0.98	0.91	0.47	0.65	0.40	0.50	0.85	0.87	0.64
	平均値	0.70	0.89	0.87	0.46	0.64	0.35	0.50	0.84	0.76	0.53
亜硝酸性窒素	最大値	0.004	0.008	0.007	0.017	0.020	0.005	0.004	0.007	0.051	0.057
	平均値	0.004	0.006	0.006	0.013	0.014	0.004	0.003	0.006	0.030	0.031
ふっ素	最大値	<0.08	<0.08	<0.08	0.16	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
	平均値	<0.08	<0.08	<0.08	0.14	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
ほう素	最大値	0.15	0.07	0.02	0.16	0.15	0.21	0.17	0.07	0.19	0.09
	平均値	0.08	0.04	0.015	0.14	0.12	0.11	0.09	0.04	0.15	0.05

## 2 生活環境項目

生活環境項目について、令和2年度の調査結果（表2-1）と事業着手前に実施した調査結果（表2-2）を比較すると、項目により増減はありますが事業着手前と概ね同等のレベルであると言えます。

令和2年度の結果において、大腸菌群数を除き、ほとんどが環境基準（＝維持されることが望ましい基準）を満足する値となっております。

表2-1 健康項目調査結果（令和2年度）

単位：mg/L(pHは単位なし)、大腸菌群数はMPN/100mL

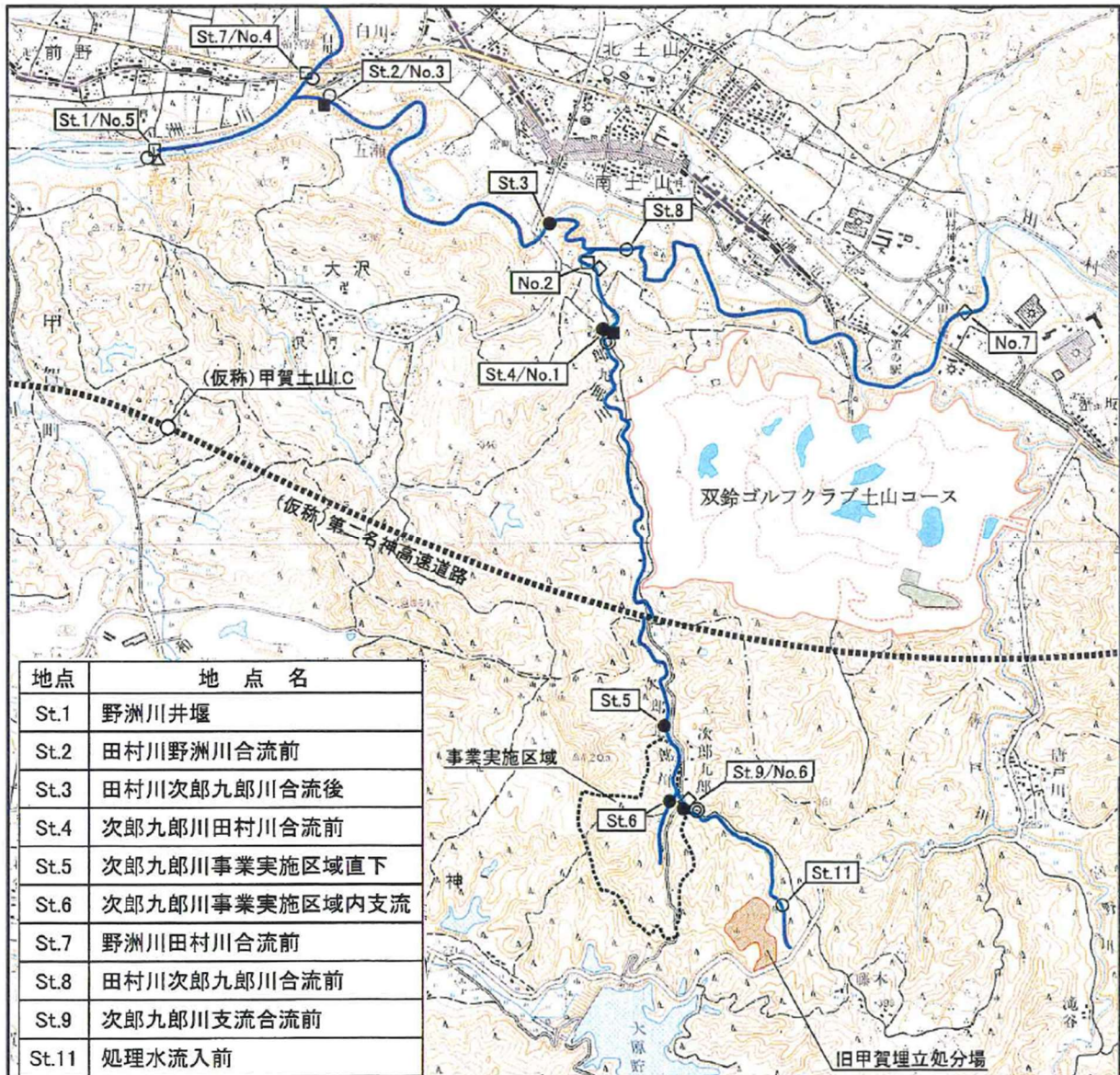
項目		St.4	St.5	St.9	St.12	環境基準 A類型(参考)
pH	最大値	7.9	8.1	7.7	8.0	6.5～8.5
	最小値	7.4	7.5	7.4	7.4	
BOD	平均値	1.6	1.7	1.5	1.6	2mg/L以下
COD	平均値	2.8	3.5	3.5	2.8	—
SS	平均値	1	3	1	1	25mg/L以下
DO	最大値	12	13	12	12	7.5mg/L以上
	最小値	8.5	8.5	7.2	8.3	
大腸菌 群数	最大値	17000	3300	2800	54000	1000MPN /100mL以下
	最小値	13	46	45	40	
n-ヘキサ 抽出物質	平均値	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	最大値	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	

表2-2 生活環境項目調査結果（工事前調査：平成11年8月～平成12年7月）

単位：mg/l（pHは単位なし）、大腸菌群数はMPN/100ml

項目		St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	St.7	St.8	St.9	St.11	環境基準 A類型(参考)
pH	最大値	8.2	8.4	8.3	9.1	8.3	8.3	8.4	8.3	8.1	8.2	6.5～8.5
	最小値	7.4	7.5	7.4	7.2	7.2	7.1	7.4	7.4	7.1	7.1	
BOD	平均値	0.7	0.7	0.6	1.5	0.8	0.6	0.7	0.8	0.8	0.6	2mg/l以下
COD	平均値	1.4	1.6	1.9	3.7	3.1	2.8	1.2	1.7	3.2	2.6	—
SS	平均値	2	4	4	9	4	3	2	3	5	3	25mg/l以下
DO	最大値	14	13	14	14	14	14	14	14	13	14	7.5mg/l以上
	最小値	8.7	8.9	8.1	8.2	7.9	7.6	8.8	8.1	7.9	8.2	
大腸菌 群数	最大値	49000	49000	170000	490000	49000	49000	79000	220000	490000	330000	1000mMPN/1 00ml以下
	最小値	790	330	230	49	49	49	230	490	46	21	
n-ヘキサ 抽出物質	平均値	<0.5	<0.5	0.51	0.51	0.52	0.5	0.53	0.52	0.53	0.52	—
	最大値	<0.5	<0.5	0.60	0.60	0.60	0.50	0.70	0.60	0.70	0.60	

調査地点図（工事前調査：平成11年8月～平成12年7月）



※：クリーンセンター滋賀の処理水は、下水道に接続しているため、河川への放流は事業区域からの雨水のみとなります。

なお、St.11 は、旧甲賀埋立処分場の処理水が流入する前の地点です。